

<b>写真</b>	<b>所 属</b>	現代社会学部 現代社会学科
	<b>専 攻</b>	健康スポーツ専攻
	<b>主な担当科目</b>	心理学, 教育心理学
	<b>氏 名</b>	織田 涼
	<b>フリガナ</b>	オリタ リョウ
	<b>職 位</b>	教授
	<b>学 位 等</b>	博士(文学)

### 研究内容・社会業績等

対人認知や創造的思考における潜在認知(意識や意図をとまなわない思考)と顕在認知(意図的, 努力的に遂行される試行)との相互性について研究をおこなっている。

また, 感情に関わる特性や感情失認が高次の認知過程に及ぼす影響についても研究している。

### 論文・書籍・資格等

#### 【論文】

- ・Orita, R. & Hattori, M. (2026). Who takes the clue? Relationships between internal and external factors in creative problem solving. *Japanese Psychological Research*, 68(2), 172-183.
- ・森 聖菜・織田 涼 (2020). 出来事の感情価と典型性が虚偽記憶に及ぼす影響. *認知科学*, 27, 400-408.
- ・Orita, R., & Hattori, M. (2019). Positive and negative affects facilitate insight problem solving in different ways: A study with implicit hints. *Japanese Psychological Research*, 64, 94-106.
- ・織田 涼・服部雅史・西田勇樹 (2018). 洞察問題としての日本語版 Remote Associates Task の作成. *心理学研究*, 89, 376-386.
- ・山本博樹・織田 涼・島田英昭 (2018). 高校初年次生と大学生の説明文理解に及ぼす標識化効果の境界条件. *心理学研究*, 89, 240-250.
- ・織田 涼・服部雅史・八木保樹 (2018). 検索容易性効果のメカニズム: 認知負荷と認知欲求の影響. *実験社会心理学研究*, 57, 67-77.
- ・織田 涼・服部雅史・八木保樹 (2015). 他者の行動予測における検索容易性の間接的影響: 特性についての期待の影響からの検討. *実験社会心理学研究*, 55, 28-39.
- ・織田 涼 (2013). 心理的距離による検索容易性効果の調整過程の検討. *立命館人間科学研究*, 27, 101-112.
- ・Hattori, M., Sloman, S. A., & Orita, R. (2013). Effects of subliminal hints on insight problem solving. *Psychonomic Bulletin & Review*, 20, 790-797.

### 学生へのメッセージ

大学生活はご自身が積極的, 能動的に活動すれば価値のある時間にすることもできますが, 自発的に動かなければなにも得られないままあっという間に時間だけが過ぎていきます。

たくさんの人とかかわり, 多様な経験を重ね, どんなことでも良いのでご自身が興味・関心を持てることを見つけて貪欲に学んでください。そうすれば, 一生忘れられない貴重な4年間にきっとなります。

一緒に頑張りましょう。